

## 2006年度 第2回幹事会議事録

## 議題1 / セミナー企画実行プロジェクトについて

●日時  
2006年7月29日(土)  
15:00~17:00

●場所  
阿佐ヶ谷美術専門学校内521号室

●出席者  
三好耕之 [常任]  
藤川正美 [常任]  
西田一成 [常任]  
秋元圭一 [会長]  
大村政幸 [常任]  
浜村圭一 [常任]  
松岡和彦 [常任]  
小山 弘 [常任]  
永吉昭浩 [委員]  
勝山昌幸 [常任]  
富澤和治 [常任]

●委任欠席 (カッコ内→代理人)

菊池 満  
日野 高  
甲斐光省→小山  
白石龍子  
角谷祥子  
軽込孝信

常任出席者 10名  
委任欠席者 6名  
定足数成立

●議事進行  
議長・進行: 小山 弘

●議事録  
書記: 佐藤如美  
校正・制作・文責:  
秋元圭一・小山 弘

■議題  
議題1  
講演会実行プロジェクトについて

議題2  
広報(同窓会ニュース)について

議題3  
その他

委員長の西田氏から講演開催に関する企画書が配られ説明があった。運営プロジェクトメンバーは8人(西田・藤川・千葉・大村・浜村・小山・永吉・富澤)、1回目はアサビフェスタの翌週の10月14日を予定しているとのこと。その後も2月、6月と予定していることが伝えられ質疑応答に入った。

いくつかの問題点として「(松岡)講演企画運営プロジェクトメンバーを見て、今の常任幹事が多いが、議題をあげるものに対して、最初に賛成者の名前をあげておいて多数決で決める事は問題ではないか」「(秋元)事を急ぎすぎる、10月分に向けた準備の部分はいいが、長い期間と考えるとどうなのだろうか、また、講演会をするにしても学校との提携が必要では」「(松岡)同窓会企画運営が講演の事しか話してないのでは? 講演内容主旨についても、学校の教育理念はそれにあうことなのか? かみあわない気がする。イベント的な内容に教育理念はどうか」「(日野)講演者が先生の場合、同窓生の場合の分類の理由がわからない点と、謝礼のランクの基準が不明。また、話(講演内容)によって聞く対象を決める形はどうか」などの意見が出た。その中で大村氏から「篠原氏の講演会は同窓会関係なく有志という形でもやりたい」との熱心な意見が出され採決に入った。

同窓会としての**10月の講演会については**今回の内容で承認された。**それ以降については**、対象者や謝礼、運営主旨などの点について**今後検討**していく事になった。また、プロジェクト内の細かい話し合いについてはメールか、または緊急召集で補って進行していくことが再度確認された。

その他の意見として、講演者の人選については最初に決めてしまうのではなく、講演テーマを決めてから人選にもっていくべきだとの意見があがった。人選については大村氏が「プロジェクトチームの最終決定権はあるのか」と述べたが、この問いに松岡氏が「結果的に同窓会でおこなう事だから無い。プロジェクトチームが色々なアイデアを出すことは良いし、人選についても説得力があれば賛成されるだろう」と答えた。

## 議題2 / 広報(同窓会ニュース)について

事務局の小山氏から「年に1回の同窓会ニュースの**発行時期について**9月、11月、2月とあるがそれを決定したい」と述べ、松岡氏から「アサビの卒展が3月19日からと遅い。卒業生に来てほしいので11月のアサビ新聞に卒展告知を入れると効果的」という意見や「(秋元)決算予算だけの情報だともったいないのでとにかく告知できるものを。あさび新聞と連携がとれたほうが良い」などいくつかの意見が上がった。最終的には卒展、篠原氏の講演会のどちらを中心に置くかが提案され、9月になら篠原氏の講演会告知ができ、11月には卒業展と講演会の報告が載せられるという二択で多数決をとった結果、**9月の発行で決定した**。

内容は決算と予算の報告、セミナーの告知、卒展の第一報とその他のニュースを予定。

## 議題3 / その他

小山氏が「**交通費について**一律1000円では問題が出ており、アイデアを提案するので**次回に採決**をとりたい」と述べた。

次回日程: 9月30日(土)の15:00~17:00ということを確認して会議は閉会した。